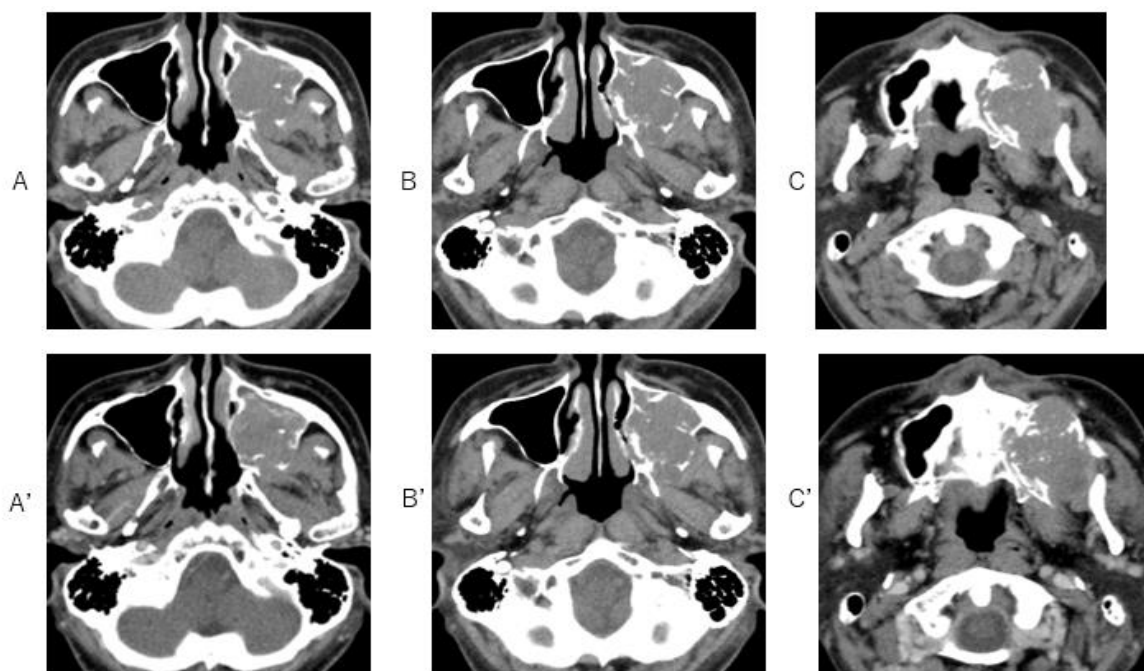


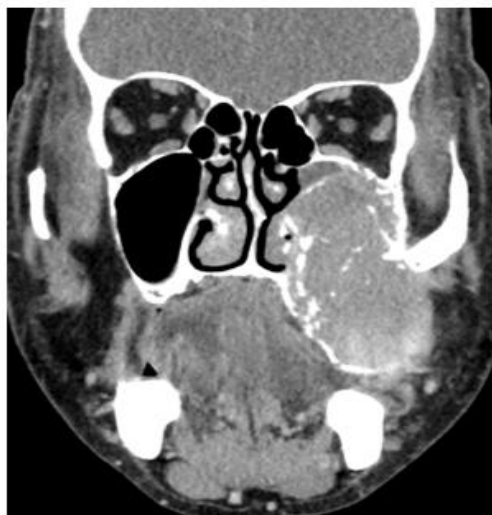
Desmoid tumor

上顎洞腫瘍 組織診 Desmoid tumor

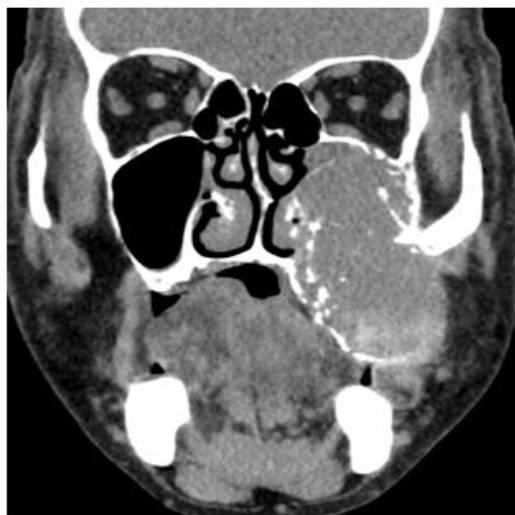
- 口腔外科 医師から上顎洞の腫瘍について診断依頼
- 通常は上顎洞腫瘍: 扁平上皮癌
- 組織診をしたが硬くて取りづらい
扁平上皮癌はもっと柔らかいはず
結果は Desmoid tumor



単純CT (A-C) 造影CT (A'-C')で左上顎洞を占拠する病変が認められる。
造影効果がみられず、周囲の骨の破壊性変化が認められる。



A



B

単純CT (A) 造影CT (B)で左上顎洞を占拠する病変が認められる。造影効果がみられず、周囲の骨の破壊性変化が認められる。下方の骨壁の破壊が認められる。

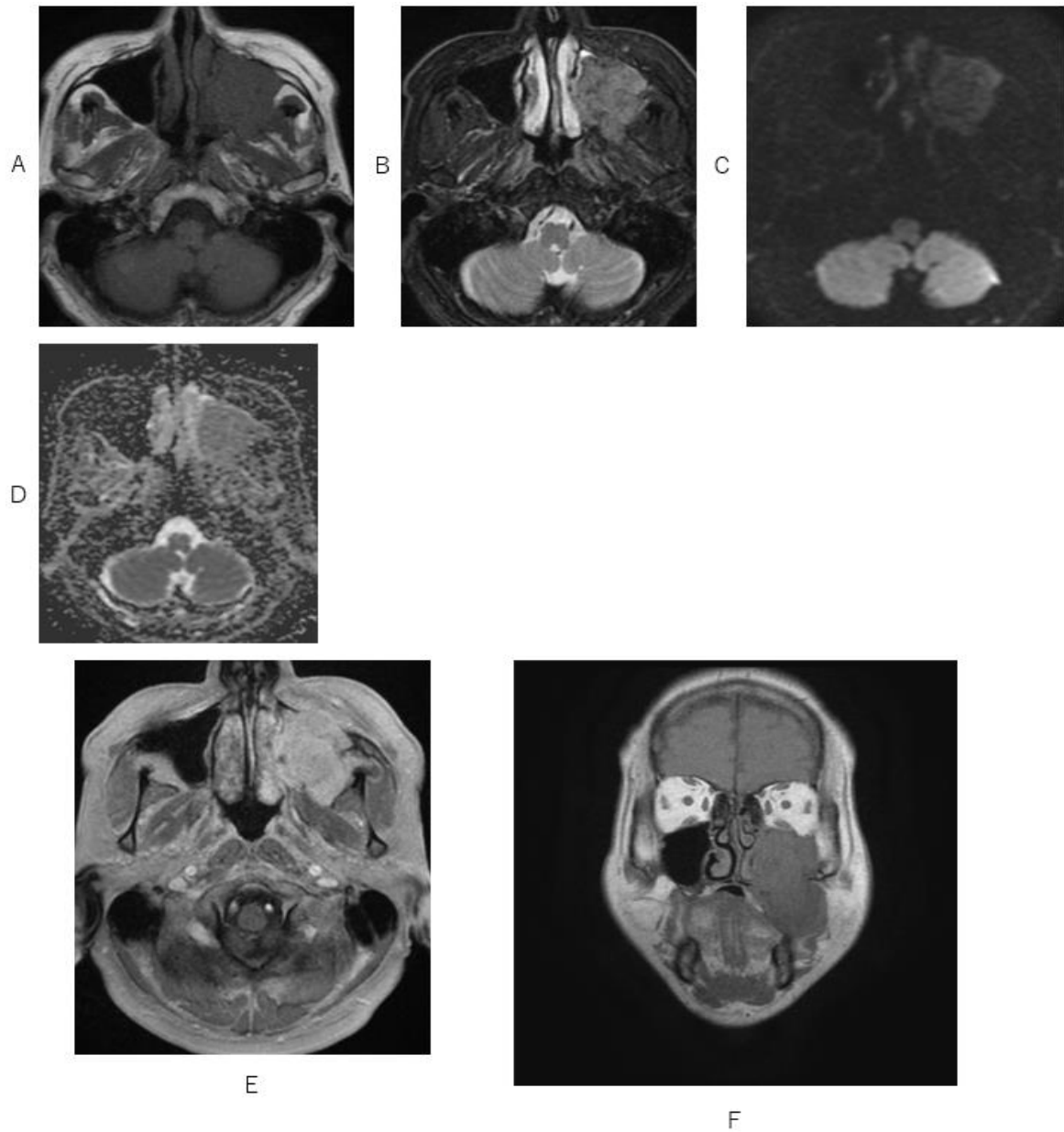


A



B

単純CT (A) 造影CT (B)で左上顎洞を占拠する病変が認められる。造影効果がみられず、周囲の骨の破壊性変化が認められる。眼窩化壁から進展し下方の骨壁の破壊が認められる。



左上顎洞を占拠する病変が認められる。T1WI, T2WIで各々、低信号、等信号でDiffusion WIでやや高信号、ADC値は1.006と低下している。

上顎洞腫瘍
扁平上皮癌 多し
腺癌

Adenoid cystic carcinoma

未分化癌(肉腫)

悪性リンパ腫

Plasmacytoma

Syed MU, et al. Radiologic overview of sinonasal lesions Front. Radiol. 4. 2024
<https://doi.org/10.3389/fradi.2024.1445701>

Desmoid tumor maxillary sinus でインターネット調べると世界で20例前後
Khozamah Z, et al. Uncommon encounter: Nasopharyngeal desmoid tumor: A case report. [International Journal of Surgery Case Reports Volume 123](https://doi.org/10.1016/j.ijscr.2024.110256), October 2024, 110256 <https://doi.org/10.1016/j.ijscr.2024.110256>Get rights and content

Desmoid tumor = Aggressive
fibromatosis

何がoriginの腫瘍
発生部位
画像の特徴

Diffusion WI ADC 値は

Desmoid tumor

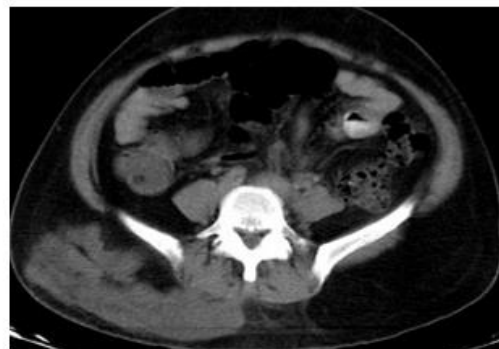
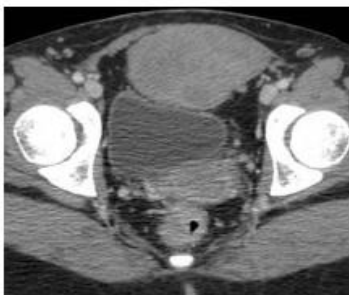
- Aggressive fibromatosisとも称される
- 遠隔転移しないため**良性範疇**とされる場合
- 浸潤性で局所再発が比較的多いため**肉腫範疇**とされる場合
- 40歳までは女性に多く その後男女比は同等
- 女性ホルモンで腫瘍促進
- 外傷や外科手術が起因で発生することあり
- 腹壁 腸間膜 後腹膜に好発

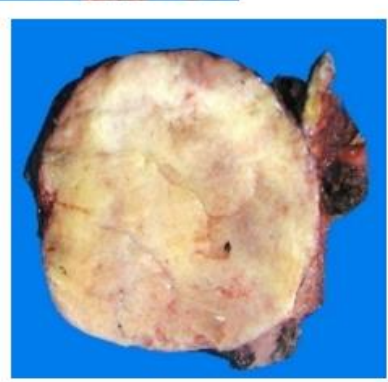
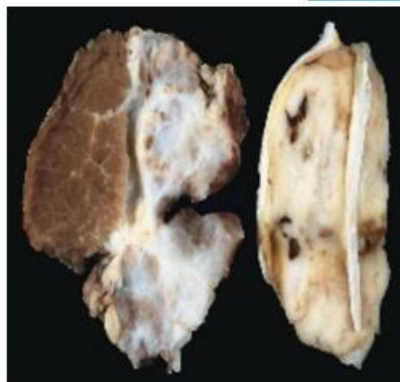
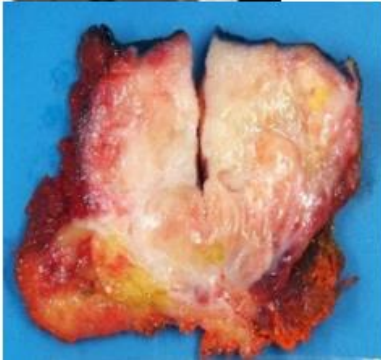
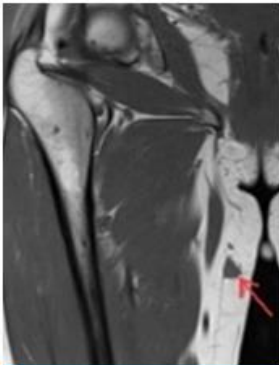
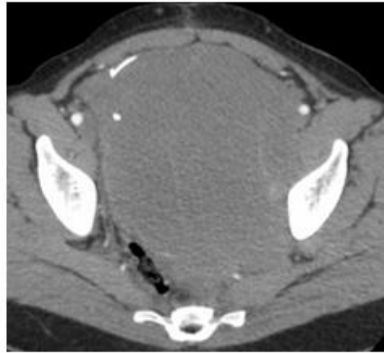
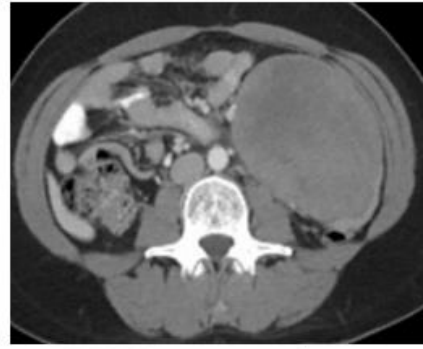
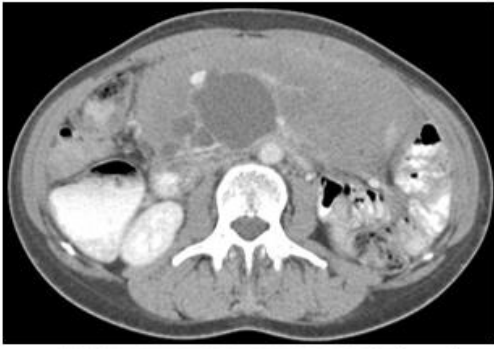
Desmoid tumor

- ・ 腹部 30－50% 腹部外 胸壁、肩、腰 上顎洞の報告は少ない
- ・ 局所攻勢増殖型 遠隔転移しない
- ・ 線維芽細胞、筋繊維芽細胞由来： [WHO classification of soft tissue tumors](#) under the category "fibroblastic/myofibroblastic tumors"
- ・ 全軟部腫瘍の <3%
- ・ 家族性大腸ポリポシス、Gardner 症候群で併発

Desmoid tumor 画像診断

- ・ 肉眼標本 線維成分と細胞成分、粘液様基質からなる
- ・ その多寡により微妙に異なる
- ・ 一様な吸収度 信号強度になることが多い
- ・ 線維成分と細胞成分の混在の程度により微妙に異なる
- ・ 線維成分が多いと T1WIで低信号 T2WIで低信号
- ・ 細胞成分が多いと T1WIで低信号 T2WIで等信号
- ・ 線維成分＋細胞成分 T1WIで低信号 T2WIで低信号＋等信号の混在





Desmoid tumor

- 局所切除術
- 根治切除施行されれば予後良好
- 局所再発 20-30%: T2WIで等信号は細胞成分多く再発し易い
- 抗エストロゲン 放射線治療の併用(再発率の低下)
- NSAIDS(Meloxicam) 無症状で限局している場合第1選択(自然消退の報告も)

Desmoid tumor

- Desmoid tumor ADC values $1.493 \times 10^{-6} \text{ mm}^2/\text{s}$
- 悪性軟部肉腫 ADC values $0.873 \times 10^{-6} \text{ mm}^2/\text{s}$,

8 desmoid tumors

74 malignant soft tissue tumors; 21 undifferentiated pleomorphic sarcoma, 13 fibrosarcoma, 12 malignant peripheral nerve sheath tumors, 9 leiomyosarcomas, 6 rhabdomyosarcomas, 6 synovial sarcoma, 2 alveolar soft part sarcoma, 2 extraskeletal Ewing's sarcoma, and 3 others (1 angiosarcoma, 1 extraskeletal osteosarcoma, and 1 extrarenal rhabdoid tumor)

本例では ADC 1.006 で悪性 potential pattern 細胞成分が多いと低下する可能性

Desmoid tumor Maxillary sinus

治療法

外科手術

放射線治療

化学療法

非ステロイド鎮痛剤：meloxicam

Permanent Teeth Chart

